

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年5月15日

上場会社名 日本テクノ・ラボ株式会社 上場取引所 札
コード番号 3849 URL https://www.ntl.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松村 泳成
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 鈴木 孝男 (TEL) 045-263-8546
定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の業績 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|-----|------|------|-------|------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期 | 815 | 6.9 | 122 | 2.7 | 125 | 2.4 | 86 | 0.2 |
| 2023年3月期 | 762 | 21.6 | 119 | 510.7 | 122 | 270.3 | 86 | 292.3 |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2024年3月期 | 53.21 | 53.10 | 7.4 | 8.9 | 15.0 |
| 2023年3月期 | 53.06 | 52.47 | 7.9 | 9.3 | 15.6 |

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 ー百万円

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年3月期 | 1,435 | 1,197 | 83.4 | 736.61 |
| 2023年3月期 | 1,384 | 1,136 | 82.1 | 696.95 |

(参考) 自己資本 2024年3月期 1,197百万円 2023年3月期 1,136百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2024年3月期 | 123 | △170 | △29 | 760 |
| 2023年3月期 | 86 | △9 | △9 | 836 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 | 純資産 配当率 |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|------|------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2023年3月期 | — | 0.00 | — | 15.00 | 15.00 | 24 | 28.3 | 2.2 |
| 2024年3月期 | — | 0.00 | — | 10.00 | 10.00 | 16 | 18.8 | 1.4 |
| 2025年3月期(予想) | — | 0.00 | — | — | — | — | — | — |

2025年3月期の配当につきましては、定款において9月30日(第2四半期日)及び3月31日(期末日)を配当基準日に定めております。現時点では、9月30日(第2四半期日)基準日における配当は無配とさせていただきます、3月31日(期末日)基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2025年3月期の業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純 利益 |
|----|-----|------|------|------|------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 900 | 10.4 | 200 | 63.4 | 200 | 59.5 | 120 | 38.4 | 73.84 |

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 2024年3月期 | 1,731,000 株 | 2023年3月期 | 1,731,000 株 |
| 2024年3月期 | 105,800 株 | 2023年3月期 | 100,000 株 |
| 2024年3月期 | 1,629,687 株 | 2023年3月期 | 1,631,836 株 |

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 4 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 6 |
| 3. 財務諸表及び主な注記 | 7 |
| (1) 貸借対照表 | 7 |
| (2) 損益計算書 | 9 |
| (3) 株主資本等変動計算書 | 10 |
| (4) キャッシュ・フロー計算書 | 12 |
| (5) 財務諸表に関する注記事項 | 13 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 13 |
| (持分法損益等) | 13 |
| (セグメント情報等) | 13 |
| (1株当たり情報) | 17 |
| (重要な後発事象) | 17 |
| 4. その他 | 18 |
| (1) 生産、受注及び販売の状況 | 18 |
| (2) 役員の異動 | 18 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社は、既存顧客の運用を支援しながら、製品の品質・機能を向上させ、顧客満足度を上げることによりユーザーとの信頼関係を築きつつ、競争力のさらなる強化に努め、新規ユーザーを獲得すべく営業活動に邁進してまいりました。

当事業年度におきましては、前事業年度比、イメージング&プリンタコントローラ事業は減収減益、セキュリティ事業は増収増益、ストレージソリューション事業は増収かつ利益を計上いたしました。また、研究開発費が増加したこと、営業力および開発力を強化するために従業員を新たに複数名採用したこと、また、全社における環境を整備・構築したことにより、販売費及び一般管理費が増加いたしました。

その結果、当事業年度の業績は、売上高は815,469千円（前年同期比6.9%増）、営業利益は122,383千円（前年同期比2.7%増）、経常利益は125,391千円（前年同期比2.4%増）、当期純利益は86,716千円（前年同期比0.2%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① イメージング&プリンタコントローラ事業

当事業における開発製品はMistral（ミストラル）およびPSR（ピーエスアール）であり、当事業においては、主に、産業用インクジェットプリンタ、広巾長尺プロッタ等のコントローラ（制御ソフトウェア）の開発、販売、保守業務を行っております。

当事業における売上高は、製品売上高は141,681千円（前年同期比40.6%減）、保守売上高は6,377千円（前年同期比36.4%減）となりました。

その結果、売上高は148,059千円（前年同期比40.4%減）、セグメント利益は30,852千円（前年同期比69.1%減）となりました。

② ストレージソリューション事業

当事業における開発製品はMnemos（ネモス）であり、当事業においては、主に、可搬型記憶媒体システムの開発、販売および保守業務を行っております。

当事業における売上高は、商品売上高は3,599千円（前年同期比16.0%増）、製品売上高は48,576千円（前年同期比1478.7%増）、保守売上高は5,239千円（前年同期比3.3%減）となりました。

その結果、売上高は57,414千円（前年同期比395.1%増）、セグメント利益は3,785千円（前年同期セグメント損失は34,236千円）となりました。

③ セキュリティ事業

当事業は、セキュリティプリントシステム部門、統合監視映像システム部門により構成されます。

セキュリティプリントシステム部門の開発製品はSPSE（エスピーエスイー）、PC GUARD（ピーシーガード）、COPY GUARD（コピーガード）であり、当部門においては、主に、セキュリティプリントシステムの開発、販売および保守業務を行っております。

セキュリティプリントシステム部門における売上高は、製品売上高は106,776千円（前年同期比22.2%増）、保守売上高は57,376千円（前年同期比4.4%増）となりました。

統合監視映像システム部門の開発製品はFIRE DIPPER（ファイヤーディッパー）であり、当部門においては、主に、統合監視映像システムの開発、販売および保守業務を行っております。

統合監視映像システム部門における売上高は、製品売上高は396,797千円（前年同期比24.3%増）、保守売上高は48,730千円（前年同期比28.1%増）となりました。

両部門合計の売上高は、製品売上高は503,573千円（前年同期比23.9%増）、保守売上高は106,106千円（前年同期比14.1%増）となりました。

その結果、売上高は609,680千円（前年同期比22.0%増）、セグメント利益は234,723千円（前年同期比32.0%増）となりました。

④ ビジネスソリューション事業

当事業における開発製品はなく、当事業においては、主に、顧客のニーズに応じた特殊なソフトウェアの受託開発、販売および保守業務を行っております。

当事業における売上高は、商品売上高はなし（前年同期は144千円）、製品売上高は41千円（前年同期比98.3%減）、保守売上高は274千円（前年同期比36.0%減）となりました。

その結果、売上高は315千円（前年同期比89.5%減）、セグメント利益は101千円（前年同期比75.9%減）となりました。

(研究開発活動)

研究開発活動は、開発部を中心に行われており、当事業年度における研究開発費の総額は前事業年度より16,466千円増加し、105,113千円（前年同期比18.6%増）となりました。

セグメントごとの研究開発活動を示すと次のとおりであります。

① イメージング&プリンタコントローラ事業

当事業におきましては、前事業年度に引き続き、インクジェットコントローラの開発および新型ポストスクリプト・ラスタライザを当社の既存のプリンタ制御ソフトウェアに対応させる開発等を行いました。

その結果、当事業にかかる研究開発費は20,858千円（前年同期比584.9%増）となりました。

② ストレージソリューション事業

当事業におきましては、前事業年度に引き続き、可搬型記憶媒体システムの一部であるデータアーカイバの開発を行いました。

その結果、当事業にかかる研究開発費は10,962千円（前年同期比64.4%減）となりました。

③ セキュリティ事業

当事業におきましては、前事業年度に引き続き、SPSEの改良、オプション機能の開発および統合監視映像システムをスマートフォンに対応させるための開発を行いました。

その結果、当事業にかかる研究開発費は73,292千円（前年同期比33.6%増）となりました。

④ ビジネスソリューション事業

当事業におきましては、前事業年度及び当事業年度において研究開発費は発生しておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当事業年度の流動資産合計は1,194,472千円と前事業年度末に比べて111,280千円減少しました。減少した主な要因は、売掛金及び契約資産が26,966千円増加しましたが、現金及び預金が75,807千円、電子記録債権が28,977千円、商品及び製品が22,821千円減少したこと等によるものです。

(固定資産)

当事業年度の固定資産合計は240,749千円と前事業年度末に比べて161,839千円増加しました。増加した主な要因は、差入保証金が52,445千円、保険積立金が106,963千円増加したこと等によるものです。

(流動負債)

当事業年度の流動負債合計は178,234千円と前事業年度末に比べて29千円減少しました。減少した主な要因は、買掛金が6,885千円、資産除去債務が7,894千円増加しましたが、未払法人税等が8,424千円、契約負債が9,638千円減少したこと等によるものです。

(固定負債)

当事業年度の固定負債合計は59,700千円と前事業年度末に比べて9,826千円減少しました。これは、繰延税金負債が1,133千円、資産除去債務が8,692千円減少したことによるものです。

(純資産)

当事業年度の純資産合計は1,197,287千円と前事業年度末に比べて60,414千円増加しました。増加した主な要因は、配当金の支払により24,465千円減少しましたが、当期純利益の計上により利益剰余金が62,251千円増加したこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物の期末残高は75,807千円減少し、760,414千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動の結果得られた資金は123,769千円となりました。主な要因は、税引前当期純利益125,391千円の計上、減価償却費の計上10,766千円、棚卸資産の減少23,477千円、法人税等の支払額50,497千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動の結果使用した資金は170,151千円となりました。これは、保険積立金の積立による支出108,720千円、敷金及び保証金の差入による支出52,445千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動の結果使用した資金は29,440千円となりました。これは、配当金の支払による支出24,447千円、自己株式の取得による支出4,993千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

① イメージング&プリンタコントローラ事業

当事業におきましては、新規顧客を開拓しつつ、すで実績のある大手二社からの大型案件の受注を推進すること、及び、この大手二社との関係を強化することに注力しております。大手二社のうち一社は、コロナ禍が落ち着くまで、当該の営業及び機械製造を休止しておりましたが、コロナ禍後を見据えて生産体制を整えております。もう一社は、顧客先にすでに設置されておりますオフセット印刷機をリプレースすることに加え、新たに開発、製造された小型機の販売を促進することが今後数年間の主力事業となっております。この小型機におきましても当社のコントローラが搭載される予定ですので、今後、さらなる受注が期待できます。

両社は、複数の開発試作機の製造から量産モデルの完成まで携わってきた当社にとりましてコアな重要顧客であることは言うに及ばず、この大手二社との関係は非常に良好であり、当社が供給するインクジェットラインヘッド制御および周辺ソフトウェアは、他に代替ができない水準との評価をいただいております。これは、当社の長年にわたる研究開発の成果であります。今後におきましても、競合他社との技術差をさらに明確にし、現時点において十分に確立された当社の優位性をさらに高めてまいります。

② ストレージソリューション事業

当事業におきましては、前事業年度に受注いたしました某自動車メーカー向けの大容量アーカイブシステムの納品が完了し、さらに、システム全体の容量を増加するための案件が進行しております。当事業におきましては、今後も引き続き、ユーザに対して弊社ソフトウェアの新規導入を勧めつつ、18テラバイトのLT0のバリュウムフェライト素材で作成されたテープメディアを使用することにより長期保存を可能とするアーカイブシステムの提案を行い、将来のライブラリシステムの導入を勧める営業活動を行ってまいります。

昨今、ペタバイトクラスの大容量アーカイブの引き合いが増えてきておりますので、大型案件の獲得も目指してまいります。現在、当装置を、主にブルーレイ記憶装置の製造会社に販売し、データの保管・運用が喫緊の課題である病院などの医療現場、医療研究部署用に納入され始め、次第に納入数が増えております。また、当装置は、大容量デ

ータを一括管理しなければならない国家プロジェクト、先端研究分野、テレコム産業等に大きな需要があると思われるので、今後は、この様な大型プロジェクトの企業向けに販売を促進してまいります。

③ セキュリティ事業

当事業のセキュリティプリントシステム部門におきましては、引き続き、省庁、自治体において印刷セキュリティ管理の導入を進めております。オフィス内の印刷可視化とセキュリティに関しましては、ネットワーク分離などのオフィスセキュリティが浸透したことで、印刷セキュリティの需要がさらに高まっていると認識しております。当社のセキュリティプリントシステム（製品名：SPSE）は、民間企業、金融機関と公共団体への導入実績があり、当事業年度にも新たな地方自治体への納品が完了し、今後もさらに他の省庁や地方自治体への営業活動を積極的に行ってまいります。

当事業の統合監視映像システム部門におきましては、現在、堅調に電力や公共案件の受注活動を行っております。また、商業施設案件については受注確度を上げるため、同業他社との製品差別化ができるよう、マスク顔認証、人体個人認証（顔認証は個人情報の観点から禁止になることも想定）、通行人数の計算を行うなど新機能の開発を行っております。これにより販売の横展開が効率よく進むことが期待できます。一方、プラント監視ですが、今後数年の具体的な受注予定も視野に入っております。公共交通系で多くの実績がある統合監視ソフトウェア（製品名：FIRE DIPPER）のニーズは、防犯、防災、テロ対策等で現在も拡大基調にあり、当社のターゲット市場も従来の公共系中心から民間系に拡大しつつあり、今後も営業活動を積極的に行ってまいります。また、医療教育機関向けOSCE実施支援システム（製品名：FIRE DIPPER for OSCE）におきましては、今後も、多数のシステムを受注し、納品することが見込まれております。OSCE（読み方は「オスキー」、Objective Structured Clinical Examinationの略）は、医学部の学生が臨床実習を行う臨床能力を身に付けているかを判定する「客観的臨床能力試験」を意味します。OSCEは、1975年に英国で提唱されて以来、臨床能力を客観的に評価する優れた方法としてヨーロッパ、北米を中心に普及してきました。普及の理由は、単なるペーパーテストによる知識重視の教育では計ることができない判断力・技術力・マナーなど、実際の現場において要求される臨床技能の習得を適正に評価することが必要であるためです。来たる2025年4月以降、医師国家試験を受験するためにはOSCEに合格している必要があり、国内の全医学系大学がOSCEシステムを導入することが必須となりました。そのため、2022年末、文部科学省は全国の大学がOSCEシステムを導入するための令和4年度実施の補正予算を組みました。当社は、FIRE DIPPER for OSCEシステムを数年前から開発しており、必要とする機能をすべて満たし、すでに納入済である複数の大学から高い評価を得ております。国内においては、本製品と同様の体系システムを開発する会社は殆ど存在せず、今後、FIRE DIPPER for OSCEは、国内のOSCE支援システムのデファクト・スタンダードとなることが予想できます。今後におきましても、全国の医学部は言うに及ばず、歯学部、看護学部等への導入に向けての営業活動を積極的に行ってまいります。

④ ビジネスソリューション事業

当事業におきましては、サービスを通じて既存顧客を積極的に維持するとともに、当社の技術、およびノウハウにより問題を解決し、顧客満足度の向上、および顧客の企業価値を高めることに努めてまいります。同時に、最新の市場ニーズや動向をくみ上げ、既得技術の水平展開を図ります。また、注目される新規分野への参入に、戦略的な意思を持って取り組んでまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2023年3月31日) | 当事業年度 (2024年3月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 836,221 | 760,414 |
| 受取手形 | - | 178 |
| 電子記録債権 | 75,190 | 46,212 |
| 売掛金及び契約資産 | 305,859 | 332,825 |
| 商品及び製品 | 54,979 | 32,157 |
| 仕掛品 | 3,774 | 840 |
| 貯蔵品 | 45 | 45 |
| 前渡金 | 10,723 | 1,889 |
| 前払費用 | 19,196 | 19,815 |
| その他 | 251 | 582 |
| 貸倒引当金 | △490 | △490 |
| 流動資産合計 | 1,305,752 | 1,194,472 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 14,658 | 13,838 |
| 減価償却累計額 | △2,480 | △7,012 |
| 建物（純額） | 12,178 | 6,826 |
| 車両運搬具 | 12,708 | 12,708 |
| 減価償却累計額 | △12,708 | △12,708 |
| 車両運搬具（純額） | 0 | 0 |
| 工具、器具及び備品 | 57,356 | 65,034 |
| 減価償却累計額 | △52,120 | △57,642 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 5,236 | 7,391 |
| 有形固定資産合計 | 17,414 | 14,218 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 581 | 571 |
| 電話加入権 | 1,569 | 1,569 |
| 無形固定資産合計 | 2,151 | 2,141 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 9,682 | 14,227 |
| 関係会社株式 | 0 | 0 |
| 出資金 | 10 | 10 |
| 長期前払費用 | 194 | 56 |
| 差入保証金 | 24,783 | 77,228 |
| 保険積立金 | 18,650 | 125,614 |
| 預託金 | 22 | 22 |
| 繰延税金資産 | - | 1,229 |
| その他 | 6,000 | 6,000 |
| 投資その他の資産合計 | 59,344 | 224,389 |
| 固定資産合計 | 78,909 | 240,749 |
| 資産合計 | 1,384,662 | 1,435,221 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2023年3月31日) | 当事業年度 (2024年3月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 16,533 | 23,419 |
| 未払金 | 13,611 | 13,217 |
| 未払費用 | 15,158 | 19,926 |
| 未払法人税等 | 37,650 | 29,225 |
| 未払消費税等 | 20,515 | 16,411 |
| 契約負債 | 71,447 | 61,808 |
| 預り金 | 3,187 | 6,176 |
| 資産除去債務 | - | 7,894 |
| その他 | 158 | 153 |
| 流動負債合計 | 178,263 | 178,234 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 1,133 | - |
| 長期未払金 | 59,700 | 59,700 |
| 資産除去債務 | 8,692 | - |
| 固定負債合計 | 69,526 | 59,700 |
| 負債合計 | 247,789 | 237,934 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 436,200 | 436,200 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 430,700 | 430,700 |
| その他資本剰余金 | 2,569 | 2,569 |
| 資本剰余金合計 | 433,269 | 433,269 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | 200 | 200 |
| その他利益剰余金 | | |
| 別途積立金 | 5,000 | 5,000 |
| 繰越利益剰余金 | 295,165 | 357,417 |
| 利益剰余金合計 | 300,365 | 362,617 |
| 自己株式 | △39,695 | △44,631 |
| 株主資本合計 | 1,130,139 | 1,187,455 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 6,591 | 9,689 |
| 評価・換算差額等合計 | 6,591 | 9,689 |
| 新株予約権 | 142 | 142 |
| 純資産合計 | 1,136,873 | 1,197,287 |
| 負債純資産合計 | 1,384,662 | 1,435,221 |

(2) 損益計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月 31日) | 当事業年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月 31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | | |
| 商品売上高 | 3,247 | 3,599 |
| 製品&サービス売上高 | 759,334 | 811,870 |
| 売上高合計 | 762,581 | 815,469 |
| 売上原価 | | |
| 商品売上原価 | 2,168 | 2,329 |
| 製品&サービス売上原価 | 330,244 | 332,885 |
| 売上原価合計 | 332,412 | 335,215 |
| 売上総利益 | 430,169 | 480,254 |
| 販売費及び一般管理費 | 310,964 | 357,871 |
| 営業利益 | 119,204 | 122,383 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 579 | 354 |
| 受取保険金 | 1,994 | 1,994 |
| 保険事務手数料 | 642 | 714 |
| 為替差益 | 54 | - |
| その他 | 0 | 31 |
| 営業外収益合計 | 3,271 | 3,095 |
| 営業外費用 | | |
| 為替差損 | - | 29 |
| 支払手数料 | 8 | 57 |
| 営業外費用合計 | 8 | 87 |
| 経常利益 | 122,468 | 125,391 |
| 税引前当期純利益 | 122,468 | 125,391 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 36,084 | 42,484 |
| 法人税等調整額 | △195 | △3,809 |
| 法人税等合計 | 35,888 | 38,674 |
| 当期純利益 | 86,579 | 86,716 |

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | | | |
|---------------------|---------|---------|----------|---------|-------|----------|---------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | | 利益剰余金 | | | |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 | 利益準備金 | その他利益剰余金 | | 利益剰余金合計 |
| | | | | | 別途積立金 | 繰越利益剰余金 | | |
| 当期首残高 | 436,200 | 430,700 | 2,569 | 433,269 | 200 | 5,000 | 216,747 | 221,947 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △8,161 | △8,161 |
| 当期純利益 | | | | | | | 86,579 | 86,579 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | — | — | — | — | 78,418 | 78,418 |
| 当期末残高 | 436,200 | 430,700 | 2,569 | 433,269 | 200 | 5,000 | 295,165 | 300,365 |

| | 株主資本 | | 評価・換算差額等 | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|---------------------|---------|-----------|------------------|----------------|-------|-----------|
| | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券 評価差額金 | 評価・換算 差額等合計 | | |
| 当期首残高 | △38,416 | 1,053,000 | 6,591 | 6,591 | 142 | 1,059,733 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | △8,161 | | | | △8,161 |
| 当期純利益 | | 86,579 | | | | 86,579 |
| 自己株式の取得 | △1,278 | △1,278 | | | | △1,278 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | | — |
| 当期変動額合計 | △1,278 | 77,139 | — | — | — | 77,139 |
| 当期末残高 | △39,695 | 1,130,139 | 6,591 | 6,591 | 142 | 1,136,873 |

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | | | |
|---------------------|---------|---------|----------|---------|-------|----------|---------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | | 利益剰余金 | | | |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 | 利益準備金 | その他利益剰余金 | | 利益剰余金合計 |
| | | | | | 別途積立金 | 繰越利益剰余金 | | |
| 当期首残高 | 436,200 | 430,700 | 2,569 | 433,269 | 200 | 5,000 | 295,165 | 300,365 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △24,465 | △24,465 |
| 当期純利益 | | | | | | | 86,716 | 86,716 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | — | — | — | — | 62,251 | 62,251 |
| 当期末残高 | 436,200 | 430,700 | 2,569 | 433,269 | 200 | 5,000 | 357,417 | 362,617 |

| | 株主資本 | | 評価・換算差額等 | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|---------------------|---------|-----------|--------------|------------|-------|-----------|
| | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券評価差額金 | 評価・換算差額等合計 | | |
| 当期首残高 | △39,695 | 1,130,139 | 6,591 | 6,591 | 142 | 1,136,873 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | △24,465 | | | | △24,465 |
| 当期純利益 | | 86,716 | | | | 86,716 |
| 自己株式の取得 | △4,936 | △4,936 | | | | △4,936 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | 3,098 | 3,098 | | 3,098 |
| 当期変動額合計 | △4,936 | 57,315 | 3,098 | 3,098 | — | 60,414 |
| 当期末残高 | △44,631 | 1,187,455 | 9,689 | 9,689 | 142 | 1,197,287 |

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|----------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前当期純利益 | 122,468 | 125,391 |
| 減価償却費 | 5,930 | 10,766 |
| 受取利息及び受取配当金 | △579 | △354 |
| 受取保険金 | △1,994 | △1,994 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 60 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △42,638 | 1,832 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | 2,491 | 23,477 |
| 前渡金の増減額 (△は増加) | △10,723 | 8,834 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △8,565 | 6,885 |
| 契約負債の増減額 (△は減少) | 18,107 | △9,638 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | 9,281 | 348 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | 780 | △4,104 |
| その他 | △1,373 | 8,716 |
| 小計 | 93,243 | 170,161 |
| 利息及び配当金の受取額 | 579 | 354 |
| 保険金の受取額 | 3,751 | 3,751 |
| 法人税等の支払額 | △11,351 | △50,497 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 86,222 | 123,769 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,086 | △8,420 |
| 無形固定資産の取得による支出 | — | △565 |
| 保険積立金の積立による支出 | △8,111 | △108,720 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | — | △52,445 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △9,197 | △170,151 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | △1,286 | △4,993 |
| 配当金の支払額 | △8,174 | △24,447 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △9,461 | △29,440 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △9 | 15 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 67,553 | △75,807 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 768,668 | 836,221 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 836,221 | 760,414 |

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

1. 関連会社に関する事項

| | (単位：千円) | |
|------------------|--|--|
| | 前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
| 関連会社に対する投資の金額 | 0 (注) | 0 (注) |
| 持分法を適用した場合の投資の金額 | — | — |
| 持分法を適用した場合の投資利益 | — | — |

(注) 関連会社に対する投資の金額は、減損処理しております。

2. 開示対象特別目的会社に関する事項

当社は、開示対象特別目的会社を有しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別に各事業部（各ユニット）を置き、各事業部（各ユニット）は、取り扱う製品・サービスについてのマーケティングや営業戦略を立案し、営業活動を展開しており、「イメージング&プリンタコントロール事業」、「ストレージソリューション事業」、「セキュリティ事業」及び「ビジネスソリューション事業」の4つを報告セグメントとしております。

「イメージング&プリンタコントロール事業」は、プリンタコントロール関連製品（関連ハードウェア並びにソフトウェアライセンス）の開発・販売、画像処理ソフトウェアの開発・販売及びプリンタコントロールに関する受託開発をしております。「ストレージソリューション事業」は、ディスクパブリッシャー装置等データアーカイブシステムの販売並びにシステムインテグレーションを行っております。「セキュリティ事業」はセキュアプリントシステムの開発・販売、映像監視システムの開発・販売並びにシステムインテグレーション等を行っております。「ビジネスソリューション事業」は当社技術を活かし新規分野への参入の足掛かりとなる戦略的なセグメントとしてソフトウェアの開発・販売等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 |
|--------------------|---------------------|----------------|----------|---------------|---------|
| | イメージング&プリンタコントロール事業 | ストレージソリューション事業 | セキュリティ事業 | ビジネスソリューション事業 | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 248,357 | 11,595 | 499,613 | 3,014 | 762,581 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 248,357 | 11,595 | 499,613 | 3,014 | 762,581 |
| セグメント利益又は損失(△) | 99,742 | △34,236 | 177,754 | 423 | 243,683 |
| セグメント資産 | 105,898 | 4,567 | 360,368 | 2,914 | 473,747 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 1,596 | 10 | 3,437 | 2 | 5,046 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | — | — | 1,750 | — | 1,750 |

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 |
|--------------------|---------------------|----------------|----------|---------------|---------|
| | イメージング&プリンタコントロール事業 | ストレージソリューション事業 | セキュリティ事業 | ビジネスソリューション事業 | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 148,059 | 57,414 | 609,680 | 315 | 815,469 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 148,059 | 57,414 | 609,680 | 315 | 815,469 |
| セグメント利益 | 30,852 | 3,785 | 234,723 | 101 | 269,463 |
| セグメント資産 | 47,096 | 11,508 | 379,217 | 104 | 437,927 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 2,780 | 143 | 5,010 | 0 | 7,935 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 3,640 | — | 4,036 | — | 7,677 |

4. 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 前事業年度 | 当事業年度 |
|-----------|---------|---------|
| 報告セグメント計 | 243,683 | 269,463 |
| 全社費用(注) | 124,478 | 147,080 |
| 財務諸表の営業利益 | 119,204 | 122,383 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：千円)

| 資産 | 前事業年度 | 当事業年度 |
|-----------|-----------|-----------|
| 報告セグメント計 | 473,747 | 437,927 |
| 全社資産(注) | 910,914 | 997,294 |
| 財務諸表の資産合計 | 1,384,662 | 1,435,221 |

(注) 全社資産は、報告セグメントに帰属しない主に現金及び預金、有形固定資産等であります。

(単位：千円)

| その他の項目 | 報告セグメント計 | | 調整額 (注) | | 財務諸表計上額 | |
|--------------------|----------|-------|---------|-------|---------|--------|
| | 前事業年度 | 当事業年度 | 前事業年度 | 当事業年度 | 前事業年度 | 当事業年度 |
| 減価償却費 | 5,046 | 7,935 | 700 | 2,693 | 5,747 | 10,628 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 1,750 | 7,677 | 100 | 565 | 1,850 | 8,242 |

(注) 減価償却費の調整額は、報告セグメントに帰属しない、全社資産に係る減価償却額であります。

【関連情報】

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

| 顧客の名称又は氏名 | 売上高 | 関連するセグメント名 |
|----------------|---------|---------------------|
| 株式会社シンク・ラボラトリー | 172,251 | イメージング&プリンタコントローラ事業 |
| 日本電気株式会社 | 97,459 | セキュリティ事業 |

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

| 顧客の名称又は氏名 | 売上高 | 関連するセグメント名 |
|-------------|---------|---------------------|
| 株式会社小森マシナリー | 111,896 | イメージング&プリンタコントローラ事業 |
| 日本電気株式会社 | 81,565 | セキュリティ事業 |

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません

(1株当たり情報)

| | 前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|-------------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 696.95円 | 736.61円 |
| 1株当たり当期純利益 | 53.06円 | 53.21円 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 52.47円 | 53.10円 |

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|--|--|--|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 当期純利益(千円) | 86,579 | 86,716 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る当期純利益(千円) | 86,579 | 86,716 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 1,631,836 | 1,629,687 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | | |
| 当期純利益調整額(千円) | — | — |
| 普通株式増加数(株) | 18,295 | 3,352 |
| (うち新株予約権(株)) | (18,295) | (3,352) |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要 | — | — |

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前事業年度 (2023年3月31日) | 当事業年度 (2024年3月31日) |
|--------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 純資産の部の合計額(千円) | 1,136,873 | 1,197,287 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額(千円) | 142 | 142 |
| (うち新株予約権(千円)) | (142) | (142) |
| 普通株式に係る期末の純資産額(千円) | 1,136,730 | 1,197,144 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株) | 1,631,000 | 1,625,200 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 受注状況

当事業年度の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) | | | |
|---------------------|--|--------------|--------------|--------------|
| | 受注高 (千円) | 前年同期比 (%) | 受注残高 (千円) | 前年同期比 (%) |
| イメージング&プリンタコントローラ事業 | 33,674 | △83.0 | 5,018 | △96.1 |
| ストレージソリューション事業 | 39,434 | 37.6 | 3,692 | △83.0 |
| セキュリティ事業 | 518,422 | △13.7 | 128,253 | △41.6 |
| ビジネスソリューション事業 | 315 | △89.2 | — | — |
| 合計 | 591,847 | △28.7 | 136,964 | △63.1 |

(注) 受注残高合計の内、2025年3月期に売上が見込まれる受注残高は108,155千円であります。

② 販売実績

当事業年度の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 販売高(千円) | | | 前年同期比 (%) |
|---------------------|---------|---------|---------|--------------|
| | 商品 | 製品&サービス | 合計 | |
| イメージング&プリンタコントローラ事業 | — | 148,059 | 148,059 | △40.4 |
| ストレージソリューション事業 | 3,599 | 53,815 | 57,414 | 395.1 |
| セキュリティ事業 | — | 609,680 | 609,680 | 22.0 |
| ビジネスソリューション事業 | — | 315 | 315 | △89.5 |
| 合計 | 3,599 | 811,870 | 815,469 | 6.9 |

(2) 役員の異動

該当事項はありません。